

☆世界見聞録 (シンガポール)

日本が少なからず影響を与えた東南アジアの国々の中のシンガポールのお国事情、文化、習慣を学んでみたいと思います。



国の成り立ちについて
正式国名はシンガポール共和国。
人口約 531 万人、面積約 716
平方キロメートルと我が
国の淡路島ほどの国土です。
マーライオンはシンガポールの
シンボルとされていますが、
1972年に造られ、トップは
ライオンでボトムはマーメイド
です。これはサンスクリット語
で「シンガ=ライオン」



「プーラ=町」からライオンの町すなわちシンガポールになったと言われています。シンガポールは自由貿易による経済と、効率の高い労働力と共に、現在、世界で堂々とした存在感を誇示しています。先日はTPP国際会議も開催されました。また、この地域における有利な立地条件がシンガポールを主要航路沿いの中心貿易へと発展させました。



水問題

国土資源のないこの国では農業は一切ありません。水源がほとんどないこの国では、海水を淡水化したり下水を浄化したりすることによって、飲用水や工業用水を合わせた総需要の55%を賄っています。残りの45%は隣国マレーシアからパイプラインで輸入しています。水問題は、経済発展を成し遂げたシンガポールにとって最大の弱点の1つです。野菜、海産物もすべてマレーシア、インドネシアから輸入しています。それゆえ近隣諸国との国交は断つことができません。

時差は本来2時間なのですが、資源がない為、株式市場を香港とあわせる為、1時間としています。亜熱帯地方に位置するため、気温と湿度が高く、3月から10月が乾季で湿気が多少低くなるので過ごしやすいと言われています。

先日の新聞に大きな見出しで、乾燥続くシンガポール、145年ぶりの異常気象とあり、水に対する国民の不安の記事がありました。



言語

日本との大きな違いは日本が島国で単一民族であるのに対し、シンガポールは隣接している回りの国々の影響を受け、国語はマレー語、公用語として英語、中国語、タミール語等が発達し、ほとんどの国民がバイリンガルです。子供達のほとんどが、幼児期からバイリンガルとして育てられ、成長する過程でほかの言語も学びます。英語と標準中国語（マンダリン）が日常生活で最も一般的に使用されています。学校で教えられる主要言語が英語である一方、子供たちは彼らの文化的ルーツを忘れないよう、自分達の母語も学んでいます。

シンガポールのご当地英語は「シングリッシュ」と言われ、特徴があります。他の言語、特に様々なマレー語や中国語の方言の存在はシンガポールで使用されている英語に大きな影響を与えてきました。

多民族が仲良く暮らす環境下で、使い勝手がよい英語が使われています。



兵役制度について

このように多民族が共存していると各民族の対決が起きないかと心配するのですが、この国には2年半の兵役制度があり、その時にシンガポール人としての自覚と国民意識が育ちます。



食事情

ベジタリアンが多く、特にビーガンと呼ばれる卵、乳製品を食べないきびしいベジタリアンのため、料理は肉の形をしながら材料は湯葉だったり工夫がしてあります。イスラム教派は豚肉を食べませんから、そのように配慮してあります。陽気で親しみやすい国民性のため、普通の人々の結婚式にはふつう400人ぐらい集まります。新郎新婦の両親の友達だったり、勤務先の同僚全員だったり。その場合でもベジタリアンかイスラム教か等をたずね、テーブルごとにベジタリアン用、イスラム教用とテーブルが用意され、会話はシングリッシュで仲良く交されます。ケータリングの席でも食事内容はキッチンと分けられています。



海外労働力

また、シンガポールは国土が狭く労働力が限られているため、海外からの労働力を積極的に受け入れています。たとえば、中流家庭でも子供が生まれるとインドネシア、フィリピンから住み込みメイドを雇い、仕事を続けるのが一般的です。

とてもきれいな街並みですが、清掃員、草刈はインド、バングラディッシュから雇っています。人権には意識が高く、メイドに危害を加え、それが通報されると実刑判決を受けます。ハスキー犬を庭に放置して死なせた飼い主は実刑判決を受けました。

参考資料：JTB発行シンガポール案内

ド イ ツ

1. 概要

国名：ブンデスリパブリック・ドイツラント

ドイツ連邦共和国といい、16の州よりなっている。

ドイツは（ 9 ）カ国と接している。

人口：8,200万人（外国人 670万人）

移民の受け入れをしている。中でもトルコ人が一番多い。

面積：35万7,000平方キロ（日本から四国を取ったくらい大きさ）

気候：冬は非常に寒く、夏は涼しい。緯度は北海道より北。

時差：夏時間（7時間） 冬時間（8時間）

街：教会を中心にして作られている。教会の塔より高い建物は建てられない。

兵役：18歳～25歳の男性、9か月間。拒否者（50%）に対して代替え役務がある。代替えとして病院、介護福祉施設、環境福祉施設など。しかし今は兵役を停止している。法律で決まっているが拒否者が多いため2011年から停止している。

消費税：19%、但し食品の一部は7%。

宗教：キリスト教（カトリック、プロテスタントが半々）は2/3。

2. ドイツ人の生活

ドイツ人は倹約家である。物を買う時よく調べて買う。壊れれば修理をして使い、物を大切に使う。収入と見合った買い物をする。日常は節約してお金を貯め休みに使う。仕事は早く片づけて帰宅し、家庭を大切に使う。又、主婦は掃除が好きで、よそのお宅の窓が汚れていたりすると「汚れていますよ」と声がけしたりする。掃除は徹底してする。ベランダに布団や洗濯物は干さない。窓に花を飾るくらい街をきれいにする。臭いや騒音には敏感である。消費税は高いが教育や医療、子供手当などが充実している。

*車

アウトバーンは基本的には速度制限はないが、時速130キロを推奨している。

*鉄道

改札はない。駅員がいないのでキップなしに乗ることができるが、検札が来た時キップを持っていなかったら高額の罰金を払わされる。

特急……指定席券があるがそこにまだ誰も座っていなければ券を持っていない人も座ることができる。指定席の車両ではない。

Sバーン（近郊電車）……電車の切符で行った先のバスや地下鉄にも乗れる。自転車や犬も乗せられる。チケットは1日券、グループ券（5人）があり便利。

*学校

教育は州の権限になっている。州によって多少違う。教育は大学まで無料。教科書は学校から借りるので学年の最後に回収される。状態が悪ければ弁償しなければならない。小学校は6歳から10歳まで（日本での1年から4年まで）。その上は大学まで行くギムナジウムとマイスターへ進むハウプトシュウレ、実科学校にわかれる。大学に進学できるのはギムナジウム。ギムナジウムは10歳から18歳まで。

大学の入学試験はないが、ギムナジウムでの大学資格試験に合格しなければ進学できない。しかしこの10歳ぐらいで将来の進路をきめる制度が問題になっている。

- ・小学校から落第がある。理解できていない子供を進級させるのはその子の為にならない。
- ・外国人の子供の教育が問題になっている。特にトルコ人やアラビア系の子供達でドイツ語がわからないため。
- ・休暇……州によって違うが クリスマス休暇、冬休み、復活祭(春休み)、昇天祭(降臨祭)、夏休み、秋休み、がある。
- ・小学校は午前中で終わるので給食はない。昼食は家でとる。しかし、学校へは軽食を持って行き、2時間目と3時間目の間に食べている。軽食はバナナ、リンゴ、サンドイッチのようなもの。

*医療

- ・子供は18歳まで無料(診察代・治療費・薬代)。大人も診察代・治療費は無料だが、薬代は有料。
- ・出産……産前は1か月、産後は2か月の休暇。その後育児休暇は3年。育児休暇を終えて入社しても女性は今まで通り正社員として働ける。

*環境

平原が多く一面に畑や牧場が広がっている。又、森が多くドイツ人は散歩が好きで散歩を楽しんでいる。日本のようにせせこましくない。クラインガルテンといって小さな庭を貸し出して市民はそこで野菜を作ったり花を植えたりして、自然を楽しんでいる。自然が大好きなドイツ人である。

- ・水……水道水は飲めるが、カルキが多い。市民はやはりミネラルウォーターを飲んでいる人が多数である。
- ・日曜日はお店がお休みなので、土曜日に買物をしておかなければならない。日曜日街に出るとすべての店が閉まっている。空いているのは花屋さんぐらい。

*エコ

ドイツは環境保護や自然保護の意識が高い。特に環境問題は食品の安全性、森林破壊、河川の水質などにとっても関心を示している。又ごみの減量、分別ごみの回収やリサイクルなどに取り組んでいる。ペットボトルの値段には容器の値段が含まれているので空き容器をお店に持って行くとお金を返してくれる。プファントという機械があってその中に空き容器を入れると15セント~30セントが出てくる。家庭では日本のように分別収集している。これも州や市によって多少の違いがある。

*クリスマス

ドイツで忘れてならないのはクリスマス。11月末から待降節が始まり町や家庭はクリスマス一色。マルクト広場ではクリスマスマーケットが約4週間12月24日の午前中迄開かれている。25日は一変して町は静か。25日・26日は店が閉まっている。アドベント・クランツ(アドベント・キャンドル)の4本のローソクに日曜日ごとに1本ずつ火を付けていきクリスマスには4本のローソクに火がともる。クリスマスのモミの木はドイツから始まった。クリスマスツリーの飾りつけは24日主婦が一人で飾りつけ、その下にプレゼントを置く。1月6日頃まで飾ってある。

12月はドイツで最も心暖まる楽しい月である。



カウンスル NO.7 分科会

『クラブとっておきプログラム』

米子マンデークラブ

教育資料 2014年6月25日

作成者 小西協子

世界見聞録

参考資料

- ・『水危機 ほんとうの話』

新潮社発行 沖 大幹著

(東京大学教授 すいもんがくしゅ 水文学者 水研究の第一人者)

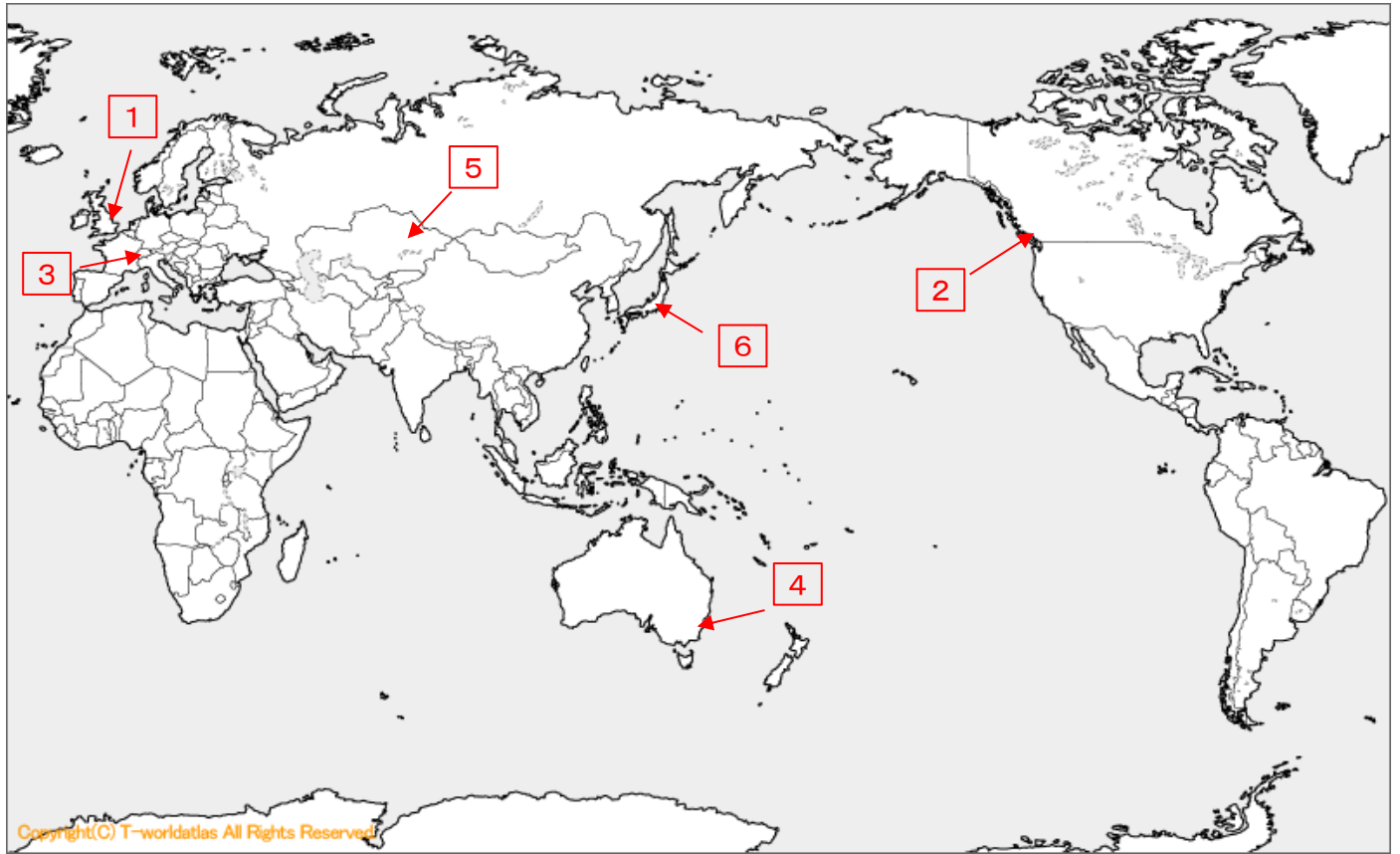
- ・国土交通省作成資料

『世界と日本の水事情』

- ① 『水』よもやま話
- ② 『仮想水』について
- ③ 『私たち』にできること

水の惑星である地球に生まれた全ての動植物は、水の恩恵を受けて生きている。

古代 4 大文明も大河の流域に花開き、農耕、交通、商業、文化を発展させ今日に至っている。近年世界各地で水に関する問題が取り上げられている。海外と日本の水事情を考え、私たちに何ができるか考えてみよう。



世界の水事情			
番号	国名	地名	トピクス
1	イギリス	ノリッジ	シャワー 食器洗い
		オックスフォード	紅茶
2	カナダ	バンクーバー	庭の散水
3	スイス	ヘリサウ	洗車
4	オーストラリア	シドニー	日本企業と自治体の水ビジネス
5	カザフスタン	アスタナ	水道メーター 河川の上流国、下流国
6	日本	②『仮想水』について ③『私たち』にできること	

() の中に数字を入れましょう。

1. 日本の平均的なバスタブ一杯の量は200ℓですが、日本人の平均的水使用量は 一人一日 (313) ℓです。
2. とうもろこし1kg収穫するのに必要であった水の量は(1,800) kgです。
3. 牛肉1kg取得するのに必要であった水の量は (20,000) kg です。

仮想水 (virtual water VW)

輸入食料を自国で生産した場合に必要な水の推定量のこと。

日本は食料を輸入することによって、自国の水を使わないで済んでいる。

食料輸入は形を変えて水を輸入しているともいえる。

(仮想水貿易 食料の輸入≒水の輸入)

日本はカロリーベースで40%の食料自給率だから、海外の水に依存して生きている。

日本人は一人一日バスタブ7杯分の仮想水を使用している。

海外の水不足や水質汚濁などの水問題は日本にもかかわりがある。

日本全体の年間水使用量 (2010年)

農業用水 67%	工業用水 14%	生活用水 19%
-------------	-------------	-------------

計 815 億 m^3

日本の仮想水年間輸入量は (1,035) 億 m^3 です。

日本の仮想水輸入量は世界一です。

けれども、仮想水は利点もある。

例えば、アフリカ、中東の国々では食料を輸入した方が節約になる。

パイプラインによる水の輸送や、海水の淡水化はコスト高になる。

なぜ節水が必要か

水は海、空、陸を循環しているので、なくなることはない。けれども、私たちが水を使う目的の大部分は洗浄することであり（トイレ、風呂、炊事、洗濯）絶えず水を汚し続けている。生活用水で汚れた水の70%は浄化され河川や湖に放出される。

水の浄化 → エネルギー消費 → 地球温暖化 → 気候変動 →
脱水、干ばつ、洪水 → 生態系の変化 → 環境破壊

私たちにできること

残飯率世界一の名を返上し、仮想水を減らす。

文化的な生活には水は必要だが、無駄な水は使用を控える。

身近な川や水路をきれいにする。河川がきれいであれば水はさらに浄化され、きれいな水が私たちの元に帰って来る。

（実際に清掃作業は度々できないので、油や醤油などを流さないようにしましょう。）

世界の国々からもらっている見えない水にも思いを馳せよう。

朗報 日本人の生活用水使用量は2000年をピークに減少している。

（節水意識の高まり、トイレの改良により流す水量が減った事などによる。）

最後に質問です。

水は地域によるバラつきがあり、種類や値段もまちまちです。

一番高い水は何でしょう？